



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 コア

コード番号 2359 URL <http://www.core.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 築田 稔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 大平 茂

TEL 03-3795-5111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,318	△8.5	△158	—	△128	—	△65	—
24年3月期第1四半期	4,721	9.8	23	—	98	—	60	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △65百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 67百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△4.61	—
24年3月期第1四半期	4.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
25年3月期第1四半期	14,507		7,224		49.4
24年3月期	14,458		7,575		52.0

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 7,167百万円 24年3月期 7,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,000	2.3	90	△66.7	90	△75.5	50	△70.1	3.52
通期	22,000	6.6	1,100	49.2	1,100	27.5	650	58.5	45.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	14,834,580 株	24年3月期	14,834,580 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	624,681 株	24年3月期	624,681 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	14,209,899 株	24年3月期1Q	14,209,899 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、個人消費や震災復興関連需要などの公共投資に支えられ堅調に推移したものの、欧州債務問題などを背景とした金融資本市場の変動や海外経済の下振れ影響から、依然として先行き不透明な状況にあります。

情報サービス産業は、景気先行き不安から企業のIT投資抑制傾向が続く厳しい環境下にあります。また、「クラウドコンピューティング」「スマートフォン」「M2M」といったITトレンドや、社会問題解決のためのITインフラ整備など、時代の要請を反映した需要については、伸長する兆しが見えてきております。

当社グループはこうした経営環境の下、引き続き「既存事業の強化」「新たなビジネスモデルの創出」「体質・構造の改革」を柱に、特化技術の提供や特長ある新製品・サービスの拡販に努めてまいりました。また、主要3事業の融合による新事業創出と生産効率の向上を目的に、本社コアビルとコア第二ビルを改装したことによる中核事業拠点の集約化を進めてきました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,318百万円（前年同四半期比8.5%減）、営業損失は158百万円（同182百万円減）、経常損失は128百万円（同226百万円減）、四半期純損失は65百万円（同126百万円減）となりました。

セグメント別の事業の状況は次のとおりです。

[セグメント情報に関する定性的情報等]

	売上高							
	エンベデッドソリューション事業		ビジネスソリューション事業		プロダクトソリューション事業		計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,086	△10.4	1,625	14.9	606	△38.1	4,318	△8.5
24年3月期第1四半期	2,327	12.5	1,414	△5.1	979	32.1	4,721	9.8
(参考)24年3月期	9,647		6,548		4,433		20,629	

	営業利益又は営業損失(△)							
	エンベデッドソリューション事業		ビジネスソリューション事業		プロダクトソリューション事業		計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	△58	—	△10	—	△89	—	△158	—
24年3月期第1四半期	42	—	△1	—	△17	—	23	—
(参考)24年3月期	470		60		205		737	

(注) 1 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2 パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

<エンベデッドソリューション事業>

「自動車制御・車載システム」及び住宅設備機器開発の伸長により「その他」の売上が増加しましたが、スマートデバイス等の情報通信端末の売上減少により「携帯電話・通信端末」が大幅に減少しました。その結果、当第1四半期の売上高は2,086百万円（前年同四半期比10.4%減）、営業損失は58百万円（同100百万円減）となりました。

<ビジネスソリューション事業>

基幹業務システム開発を中心に「Webソリューション」の売上が大幅に伸長し、「製造ソリューション」「流通ソリューション」の売上も堅調に推移しましたが、中核事業拠点の集約化による移転費用が増加したことにより、当第1四半期の売上高は1,625百万円（前年同四半期比14.9%増）、営業損失は10百万円（同9百万円減）となりました。

<プロダクトソリューション事業>

「資産管理・PLMソリューション」の売上減少に加え、前年同四半期に特需案件で大幅に伸長した「電子テロップ」で前年同四半期相当の売上高が確保できなかったこと等により、当第1四半期の売上高は606百万円（前年同四半期比38.1%減）、営業損失は89百万円（同72百万円減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ118百万円減少し、7,037百万円となりました。これは、現金及び預金が550百万円、仕掛品が388百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が1,497百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ167百万円増加し、7,470百万円となりました。これは、有形固定資産が114百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は48百万円増加し、14,507百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ400百万円増加し、5,154百万円となりました。これは、買掛金が228百万円減少しましたが、賞与引当金が356百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ0百万円減少し、2,128百万円となりました。これは、長期借入金6百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は399百万円増加し、7,283百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ350百万円減少し、7,224百万円となりました。これは、配当金の支払284百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月27日に公表しました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	977,984	1,528,513
受取手形及び売掛金	4,598,426	3,100,847
有価証券	11,790	11,790
商品及び製品	68,669	78,520
仕掛品	632,276	1,020,975
原材料及び貯蔵品	45,995	41,723
その他	820,947	1,255,044
流動資産合計	7,156,090	7,037,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,539,259	1,588,378
土地	3,821,118	3,821,118
その他(純額)	148,781	213,670
有形固定資産合計	5,509,160	5,623,167
無形固定資産	256,383	302,435
投資その他の資産	1,537,299	1,544,827
固定資産合計	7,302,843	7,470,430
資産合計	14,458,933	14,507,846
(負債の部)		
流動負債		
買掛金	1,590,293	1,361,687
短期借入金	1,259,465	1,167,796
未払法人税等	136,499	97,821
賞与引当金	603,694	960,642
受注損失引当金	207,333	208,368
製品保証引当金	24,991	21,067
その他	931,764	1,337,064
流動負債合計	4,754,041	5,154,449
固定負債		
長期借入金	1,786,926	1,780,027
退職給付引当金	50,237	50,026
役員退職慰労引当金	192,689	192,689
その他	99,379	105,922
固定負債合計	2,129,232	2,128,666
負債合計	6,883,273	7,283,115

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	440,200	440,200
資本剰余金	152,412	152,412
利益剰余金	7,595,510	7,245,747
自己株式	△641,805	△641,805
株主資本合計	7,546,316	7,196,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,917	△1,511
為替換算調整勘定	△38,223	△27,311
その他の包括利益累計額合計	△27,305	△28,822
新株予約権	40,143	40,143
少数株主持分	16,505	16,856
純資産合計	7,575,660	7,224,731
負債純資産合計	14,458,933	14,507,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,721,041	4,318,329
売上原価	3,713,575	3,485,702
売上総利益	1,007,466	832,627
販売費及び一般管理費	983,886	991,289
営業利益又は営業損失(△)	23,580	△158,662
営業外収益		
受取利息	81	263
受取配当金	43,996	41,533
受取賃貸料	37,346	8,175
持分法による投資利益	1,791	—
補助金収入	17,696	6,879
その他	3,171	15,964
営業外収益合計	104,085	72,816
営業外費用		
支払利息	17,041	15,945
持分法による投資損失	—	4,258
賃貸収入原価	11,642	4,238
事務所移転費用	—	12,859
その他	971	5,685
営業外費用合計	29,655	42,987
経常利益又は経常損失(△)	98,010	△128,833
特別利益		
投資有価証券売却益	—	292
災害損失引当金戻入額	1,671	—
特別利益合計	1,671	292
特別損失		
投資有価証券評価損	23,810	—
特別損失合計	23,810	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	75,872	△128,540
法人税、住民税及び事業税	171,763	129,172
法人税等調整額	△158,693	△192,054
法人税等合計	13,069	△62,882
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	62,802	△65,658
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,930	△93
四半期純利益又は四半期純損失(△)	60,871	△65,564

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	62,802	△65,658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,819	△13,212
為替換算調整勘定	1,090	3,982
持分法適用会社に対する持分相当額	2,252	9,026
その他の包括利益合計	5,162	△203
四半期包括利益	67,964	△65,861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,674	△67,082
少数株主に係る四半期包括利益	2,290	1,220

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エンベデッド ソリューション 事業	ビジネス ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,327,831	1,414,158	979,051	4,721,041	—	4,721,041
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,162	—	12,346	13,508	△13,508	—
計	2,328,993	1,414,158	991,398	4,734,550	△13,508	4,721,041
セグメント利益又は 損失(△)	42,057	△1,342	△17,134	23,580	—	23,580

(注)1 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エンベデッド ソリューション 事業	ビジネス ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,086,734	1,625,322	606,273	4,318,329	—	4,318,329
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,149	—	21,541	22,690	△22,690	—
計	2,087,883	1,625,322	627,815	4,341,020	△22,690	4,318,329
セグメント損失(△)	△58,433	△10,933	△89,295	△158,662	—	△158,662

(注)1 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更によるセグメント損失に与える影響は軽微であります。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。